

洗足会が贈る〈文化普請の講演〉



吟味改め役

田中優子

(元法政大学総長)

戯作者を育み、浮世絵師を見出し、
摺師や彫師などを宥めすかしながら
色々な「当世の草紙」を矢継ぎ早に世に送り出した
文化の再解釈者 葛重を吟味する

版元として出版物に載った葛屋重三郎
「箱入娘面屋人魚 3巻」



葛屋重三郎の 編集から見る江戸文化

3月14日(土)
14:00~15:30

開場 13:30
講演終了後、懇親会あり(500円)
会場 洗足会館
参加費 会員、家族(子供は無料) 1500円
非会員 2000円
定員 80名



喜多川歌麿
『当時三美人』
(寛政5年頃)



東洲斎写楽『市川蝦蔵の竹村定之進』(寛政6年)。
河原崎座で上演された『恋女房染分手綱』に取材し、
竹村定之進を演じる市川蝦蔵を描いている。

申込方法

洗足会会館に直接
お申込みください



TEL:
03-3781-1455

※木曜日・金曜日・祝日は休館です。

Email:
info@senzokukai.org
当日受付・支払いでもOK

但し、定員オーバーの場合ご容赦ください。

田中優子先生プロフィール

法政大学名誉教授・元総長/法政大学江戸東京研究センター特任教授/編集工学
研究所・イシス編集学校学長/法政大学社会学部教授/国際日本学インスティテュ
ート(大学院)運営委員長、社会学部長、総長を歴任。専門は日本近世文化・アジ
ア比較文化。研究領域は、江戸時代の文学、美術、生活文化。『江戸の想像力』で
芸術選奨文部大臣新人賞、『江戸百夢』で芸術選奨文部科学大臣賞・サントリー
学芸賞。2005年度紫綬褒章。江戸時代の価値観と持続可能社会のシステムから、
ジェンダーや軍拡など現代の問題に言及することも多い。

著書(単著):江戸の想像力『近世アジア漂流』『江戸百夢』『グローバリゼーシ
ョンの中の江戸』『布のちから』『江戸から見ると』『苦海・浄土・日本一石牟礼
道子 もだえ神の精神』『遊廓と日本人』『葛屋重三郎 江戸を編集した男』など
著書(共著):『日本問答』『江戸問答』『昭和問答』など
翻訳:『大江戸視覚革命』など